

長野県植物誌資料集CD-ROM（テスト版）について

著者	清水 建美
雑誌名	植物地理・分類研究 = The journal of phytogeography and toxonomy
巻 号	50 1
ページ	80-80
発行年	2002-10-28
URL	http://hdl.handle.net/2297/48107

○清水建美：長野県植物誌資料集 CD-ROM (テスト版) について

Tatemi Shimizu: On the CD-ROM (Pilot Edition) of the Flora of Nagano Prefecture Database

1997 年 12 月、長野県植物誌編纂委員会が「長野県植物誌」(信濃毎日新聞社刊)を出版してから 4 年半がたつ。この本は信州大学をはじめとする全国各地の既存の標本および、委員会のメンバーが 20 余年にわたり県内各地を踏査して得た標本や野帖の記録を基礎として編纂された。これらの標本のデータや野帖の記録は、当初からすべて一定のフォーマットにしたがってデータベースに収納されている。しかし、収納されたデータが植物誌上ですべて公表されているわけではない。そこで、植物誌刊行後、データベースを公表し、より有効に活用されることを願って、1998 年 9 月、編集委員会を引き継いで長野県植物誌資料集作成委員会が発足した。

長野県植物誌は、植物誌・資料集・分布図集の 3 部をもって完成というのが、最初からの目論見であった。以来、資料集作成委員会ではデータベースに収納済みのすべての標本データを再同定・再検討することから始め、かつ、できるだけ多数のデータを集積すべく、今日まで委員会メンバーによって間断のない努力が続けられてきた。資料集および分布図の出版は、当初印刷出版が考えられたが、結局電子出版 (CD-ROM) とした。CD-ROM に分布図作図機能を組み込めば、CD 1 枚で資料集と分布図集を同時に出版したことになるし、製作コストも収納スペースも節減でき、その上、各種のプログラムを組み込めば、使い勝手も格段によくなり、多目的な使用ができるにちがいないと考えたからである。

こうして、長野県植物誌資料集 CD-ROM (テスト版) はこのほど完成し、8 月 27 日に披露会がおこなわれた。作成部数は 10 部である。この CD-ROM には長野県植物誌資料集 423,230 件のデータが収められているほか、和名学名対照表 9,192 件、県外の普通植物分布データ 35,926 件、日本全域の海岸線・県界・等高線などの地図データを内蔵している。植物誌のデータ源は標本、文献、調査票の 3 種類、ほぼ半数が標本データである。1 件のデータは植物名、市町村名、市町村コード、地名、位置座標 (5 倍メッシュ相当)、標高、氏名、年、月、標本室コード、データ源、状態 (蕾、花、実、その他) など 23 項目からなる。これらのデータの検索・表示に関わる主な機能は次の通りである。

- ① 23 項目すべてについて迅速にインデックス検索が行うことができ、年についてはさらに期間を指定した検索が可能である。
- ② 検索結果は全項目あるいは必要項目を選択してリスト表示ができ、項目の列の表示順は任意にきめることができる。
- ③ 検索結果はハードコピーで印刷でき、また植物目録形式 (科別分類順) の印刷出力ができる。
- ④ 種類ごとの分布図 (水平・垂直) を資料源を区別して表示、印刷出力できる。また、分布点をクリックすることによってデータ内容が表示される。
- ⑤ 分布図には長野県内の市町村界、500 m、1,500 m、2,500 m、の等高線を選択表示できる。一方、日本の任意の地域の表示、拡大、縮小、移動が自由にできる。全国対応の等高線は 200 m、1,500 m、2,500 m が用意されている。

このように、本 CD-ROM は内蔵データの多面的な活用をめざして多様なプログラムを搭載した。先述のように、作られた CD はテスト版ということもあって 10 部であり、頒布先は限られる。しかし、部分的なデータ利用を希望される方には長野県の必要データ、必要分布図等をコピー代・郵送料などの実費で提供することが可能である。全面的利用のためには今後 2 年を目処に、市販用の普及版 (訂正・増補版) をつくる計画が進行中である。読者のみなさんのご支援をお願いしたい。

連絡先: 〒390-0312 松本市岡田松岡 211-3 清水建美 Tel & Fax 0263-46-3086

(〒390-0312 松本市岡田松岡 211-3 Okada-matsuoka 211-3, Matsumoto 390-0312, Japan)